

第5次松戸市地域福祉計画策定に活かす各市民意識調査

■基本目標1 安心して暮らせるまちづくり

取り組み課題1 地域での防災・避難行動要支援者の避難支援体制づくり

問い① 避難行動要支援者名簿を活用して、実際どのような活動をしていますか。

(あてはまるものすべて)

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

- 結果①・活用していない：53.9%
- ・要支援者への訪問：15.6%
 - ・防災訓練(安否確認訓練)：12.1%
 - ・要支援者ごとの避難支援者の選定：11.7%

問い② 町会等として避難行動要支援者に対する避難行動が必要になった場合、どのような支援を行うか取り決めをしていますか。

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

- 結果②・取り決めをしている：3.9%
- ・ある程度取り決めをしている：22.3%
 - ・あまり取り決めをしていない：31.3%
 - ・まったく取り決めをしていない：39.5%
 - ・無回答：3.1%

取り組み課題7 相談支援・情報提供の充実

問い① あなたはお住まいの地域の基幹相談支援センターを知っていますか。

【松戸市障害者計画策定のためのアンケート調査 障害者調査(令和5年1月)】

- 結果①・知っており、利用している(利用したことがある)：5.8%
- ・知っているが、利用したことはない：17.4%
 - ・今まで知らなかった：64.5%

問い② 子どものことや子育てについて気軽に相談できる相手はいますか。
または相談できる場所がありますか。

【松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査(令和6年3月)】

- 結果②(就学前児童保護者)・いる／ある：91.5%、・いない／ない：8.5%
- (小学生保護者) ・いる／ある：83.7%、・いない／ない：16.3%
- (中学生保護者) ・いる／ある：80.2%、・いない／ない：19.8%

問い③ あなたは「高齢者いきいき安心センター」を知っていますか。
(あてはまるものすべて)

【いきいき安心プランⅧまつど 市民アンケート調査(令和6年3月)】

結果③ (一般高齢者調査)

- ・ 名称は知っている：48.0%
- ・ 介護に関する相談窓口であること：27.6%
- ・ いずれも知らない：41.5%

(若年者調査)

- ・ 名称は知っている：37.9%
- ・ 介護に関する相談窓口であること：26.1%
- ・ いずれも知らない：53.7%

問い④ お住まいの地域を担当する「高齢者いきいき安心センター」を知っていますか。

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

結果④ ・ 知っている：82.4%

- ・ 知らない：17.2%

■基本目標2 自立と参加の促進

取り組み課題3 地域福祉推進のための担い手の育成

問い① あなたは市民活動にどの程度関心がありますか。

【協働のまちづくりに関する意識調査(令和2年3月)】

結果① ・ 大に関心がある：3.6%

- ・ どちらかといえば関心がある：29.0%
- ・ どちらともいえない：35.7%
- ・ どちらかといえば関心がない：24.0%
- ・ 全く関心がない：5.9%

問い② あなたは、これまで市民活動に参加したことがありますか。

【協働のまちづくりに関する意識調査(令和2年3月)】

結果② ・ 現在、参加している：12.0%

- ・ 以前は参加していたが、現在は参加していない：21.8%
- ・ これまで参加したことはない：64.3%

問い③ あなたがこれまで、市民活動に参加したことがない理由はなんですか。

(いくつでも)

【協働のまちづくりに関する意識調査(令和2年3月)】

結果③・きっかけや機会がない：54.8%

- ・忙しくて時間がない：41.9%
- ・活動に関する情報が得られない：27.6%
- ・興味や関心がない：20.0%
- ・経済的にゆとりがない：19.7%

問い④ あなたが市民活動に参加してどのようなことを感じましたか。(3つまで)

【協働のまちづくりに関する意識調査(令和2年3月)】

結果④ (良かったと感じること)

- ・多世代、他職種の人と交流ができた：47.2%
- ・友人を得ることができた：37.3%
- ・活動そのものが楽しかった：21.6%
- ・社会に対する視野・見方が広まった：15.5%

(課題だと感じていること)

- ・新しく参加してくれる人が少ない：35.8%
- ・自分の都合のつく時間に活動できない：30.5%
- ・団体の事務など特定の人に負担がかかる：26.0%
- ・必要がないのにやめられない業務がある：8.8%

問い⑤ あなたは、今後、市民活動に参加したいと思いますか。

【協働のまちづくりに関する意識調査(令和2年3月)】

結果⑤・参加したい：6.1%

- ・どちらかといえば参加したい：22.0%
- ・どちらともいえない：46.6%
- ・どちらかといえば参加したくない：15.9%
- ・参加したくない：7.0%

問い⑥ 日頃、町会等が住民から特に求められていることはどのような活動だと思いますか。
(あてはまるものすべて)

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

結果⑥・防犯・防災：82.4%

- ・交流イベント：62.1%
- ・見守り活動・声かけ活動：55.9%

問い⑦ 日頃、町会等が主体となって、どのような活動を行っていますか。
(あてはまるものすべて)

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

結果⑦ ・防犯・防災：71.9%
・見守り活動・声かけ活動：46.5%
・地域の衛生環境の保全：33.6%
・居場所づくり：25.4%
・多世代交流：21.9%

問い⑧ 町会等が主体となって活動していると回答した方は、その活動はどのような方と協力・連携して行っていますか。(あてはまるものすべて)

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

結果⑧ ・民生委員・児童委員：57.1%
・社会福祉協議会関係者：37.3%
・高齢者支援連絡会関係者：26.4%

問い⑨ 町会等において感じている地域の課題を教えてください。(3つまで)

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

結果⑨ ・町会等の活動への参加者の減少：58.6%
・住民同士の交流やコミュニケーションの希薄化：46.9%
・ひとり暮らし高齢者に関する問題：41.8%

問い⑩ 町会等として、地域の課題を解決するために実施すべきと思っていることを教えてください。(3つまで)

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査(令和6年3月)】

結果⑩ ・町会等の担い手を確保する：77.3%
・住民同士が楽しみながら交流できるイベント・行事を積極的に開催する：62.1%
・町会等により多くの方に加入してもらう：35.5%

■基本目標3 支え合い共に生きるまちづくり

取り組み課題4 子どもや高齢者、障害者等への虐待・暴力の防止

問い① あなたは、障害があることが原因で、日常生活の中で人権を損なう扱いを受けた経験がありますか。(家族や施設の人から暴力による虐待を受けた)

【松戸市障害者計画策定のためのアンケート調査(令和2年3月)】

- 結果①**・障害者：1.4%
・障害児：1.7%

問い② 普段、子育てをしているあなたの気持ちはどうですか。（複数回答）

【松戸市子ども・子育て支援に関するアンケート調査（令和6年3月）】

結果②（生活や気持ちにゆとりがないので、子育てにいらだつことがある）

- ・就学前児童保護者：41.2%
- ・小学生保護者：33.6%
- ・中学生保護者：19.4%
- （子どもを虐待しているのではないかと思うことがある）
- ・就学前児童保護者：6.9%
- ・小学生保護者：9.3%
- ・中学生保護者：2.9%

問い③ 虐待が疑われる状況を発見した際の、通報・相談先について知っていますか。

【いきいき安心プランⅧまつど 町会・自治会調査（令和6年3月）】

- 結果③**・知っている：43.4%
・知らない：54.3%

■基本目標4 福祉文化の創造

取り組み課題3 福祉教育の推進

問い① 障害者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

【人権に関する市民意識調査（令和5年11月）】

- 結果①**・障害者の就職機会を確保する：37.1%
・自立を目指す障害者が、生活しやすい環境にする：36.6%
・学校教育の中で、障害者理解教育を充実する：35.4%

問い② 性別の違いによる人権を守るためには、どのようなことが必要だと思います。
（3つまで）

【人権に関する市民意識調査（令和5年11月）】

- 結果②**・男女平等や性についての教育を充実する：57.5%
・性犯罪等の取り締まりを強化する：29.4%
・女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会を充実する：23.7%

問い③ 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

【人権に関する市民意識調査（令和5年11月）】

結果③ ・子どもに自分を大切にし、また、他人も大切にする思いやりを教える：50.6%

・教師の人間性、指導力を高める：40.3%

・家庭内の人間関係を安定させる：36.5%

問い④ 外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つまで）

【人権に関する市民意識調査（令和5年11月）】

結果④ ・外国人児童生徒に教育を受ける機会を確保する：34.0%

・外国人の文化や伝統を尊重し、協調する態度を育むなど、国際理解教育を進める
：29.8%

・外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める：29.7%